

# Little Rocky

リトルロッキー

このたびはリトルロッキーをお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。

・ご使用前に、この「ご使用の手引き」をお読みいただき正しくお使いください。

・保証書はお買い求めの販売店から必ずお受け取りの上、「ご使用の手引き」とともに大切に保管ください。

## ■ 目 次 ■

安全にご使用いただくために	1
各部の名称	2
付属品の明細	3
付属品箱の開け方	3
前カバーの開け方	4
布台の開け方	4
布くず入れの取り付け方	4
アンテナのたて方	5
駒糸押えとネットの取り付け方	5
電源のつなぎ方	6
スピードの調節	6
はずみ車の回転方向	6
押え金の上げ下ろし	7
押え金の交換	7
糸の通し方	8~11
上ルーパー糸の通し方	8
下ルーパー糸の通し方	9
右針糸の通し方	10
左針糸の通し方	11
糸端の始末	12
差動送り量の調節	13
糸調子のとり方（2本針4本糸）	13~14
糸調子のとり方（1本針3本糸）	15
巻きロックへの切り換え方	16
針と糸と布地の関係	16
巻きロック、ピコ縫い、 細幅ロックの糸調子	17
送り目の調節	17
切り幅の調節	18
ランプの交換	18
針の交換	19
上メスの交換	19
注油とお手入れ	20
調子が悪いときは	21
仕様	22

# 安全にご使用いただくために

ご使用いただくに当たっては、安全のために下記のことをお守りください。  
このミシンは日本国内向け、家庭用です。 FOR USE IN JAPAN ONLY



## 警告

感電、火災の恐れがあります。

1. 一般家庭用交流電源100Vでご使用ください。
2. 下記のようなときは電源スイッチを切り、室内コンセントから電源プラグを抜いてください。
  - ・ミシンのそばを離れるとき。
  - ・ミシンをご使用になったあと。
  - ・ミシンのご使用中に停電したとき。

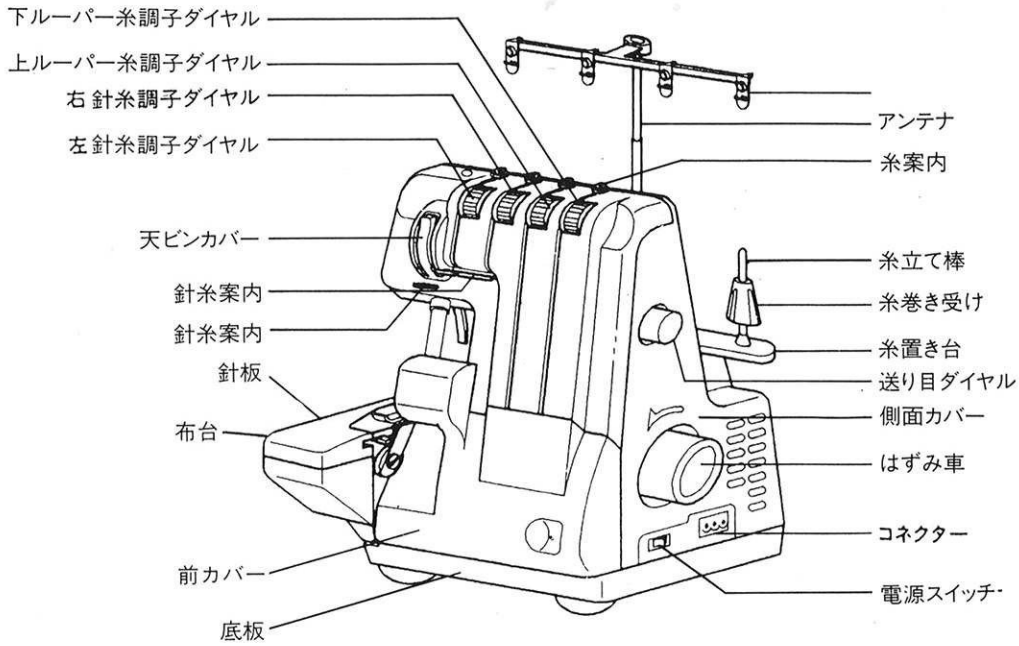


## 注意

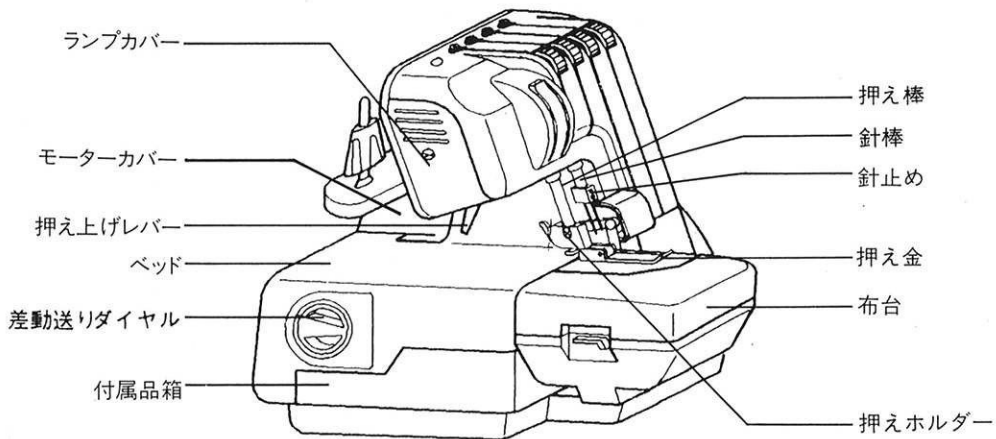
感電、火災、ケガの原因となります。

1. コントローラーや電源コードの上に物を乗せないでください。
2. お客様ご自身での分解、改造はしないでください。
3. ミシンを操作するときは、ルーバーカバー、布台カバーなど、カバー類を閉じてください。
4. ミシンの縫製中は針から目を離さないようにし、針、メス、ルーバー、はずみ車、天びんなど、すべての動いている部分に手、髪の毛を近づけないでください。
5. 針折れの原因になるような曲がった針やさきのつぶれた針はご使用にならないでください。
6. 針折れの原因になりますので、縫製中に布を無理に引っ張ったり、押したりしないでください。
7. お子様はミシンをご使用になるときは、特に安全にご注意ください。
8. ミシンおよびコントローラーに水や薬品などがかからないようにしてください。  
ミシン内部に異物を入れないでください。  
また糸くずやホコリがたまらないように定期的に掃除してください。
9. ミシン本体の換気穴をふさがしないでください。
10. 下記のことを行うときは、電源スイッチを切ってください。  
電源スイッチのついていない機種は電源プラグを抜いてください。
  - ・針、針板、押え、メスなどを交換するとき。
  - ・針糸、ルーバー糸の糸通しをするとき。
  - ・ランプを交換するとき。  
(ランプが冷えてから行ってください。)  
(別売のランプも同様です。)
  - ・取扱説明書に記載のあるミシンのお手入れ注油を行うとき。
11. 落下しやすい場所でのミシンのご使用、保管はしないでください。
12. ミシンやコントローラーに下記の異常があるときは、速やかに使用を停止し、最寄りの販売店にて点検・修理・調整をお受けください。
  - ・正常に作動しないとき。
  - ・落下などにより破損したとき。
  - ・水に濡れたとき。
  - ・電源コード、プラグ類が破損、劣化したとき。
  - ・異常な臭い、音がするとき。
13. ミシンには正規の部品をご使用ください。
14. 長時間直射日光の当たる場所やスプレー製品や酸素、引火性の高い薬品を扱っている場所で使用しないでください。
15. 電源プラグをコンセントから抜くときは電源スイッチを切り、コードを引っ張らずにプラグを持って抜いてください。

# 各部の名称



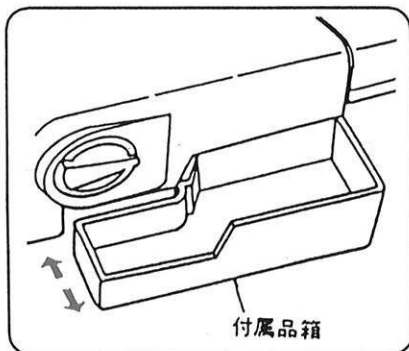
## 各部の名称



## 付属品の明細

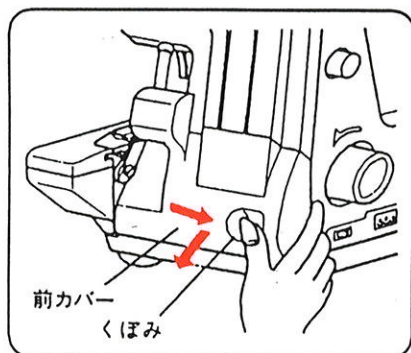


## 付属品箱の開け方



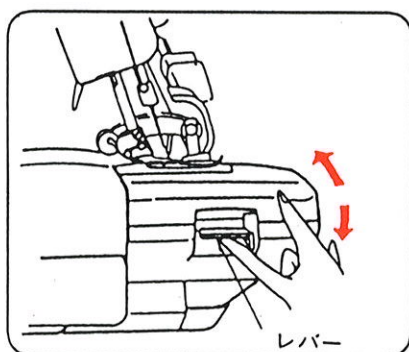
付属品箱の開け方は  
左側面の後方にある付属品箱を図のように、本体に  
対して平行に引き出します。

## 前カバーの開け方



前カバーの開け方は  
図のように、前カバーのくぼみを親指で押えながら、  
右に引き、手前に倒します。

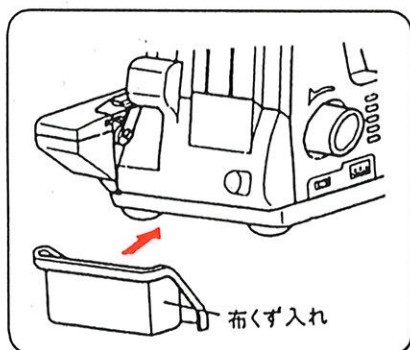
## 布台の開け方



布台の開け方は  
左側面にあるレバーを上引き上げたまま、布台を  
持って下げます。

布台の閉じ方は  
布台を持ち上げ、元に押し戻します。

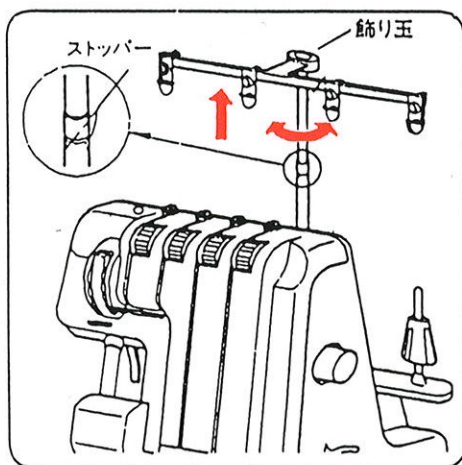
## 布くず入れの取り付け方



図のように、底板の下に突起をはさみます。

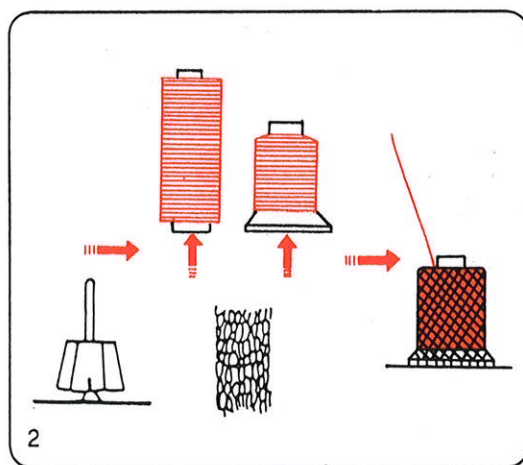
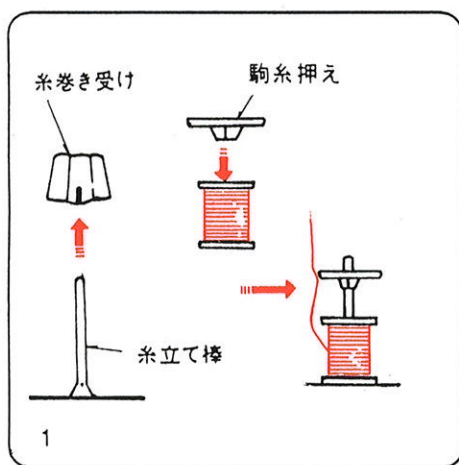
前カバーの開け方／布台の開け方／布くず入れの取り付け方

## アンテナの立て方



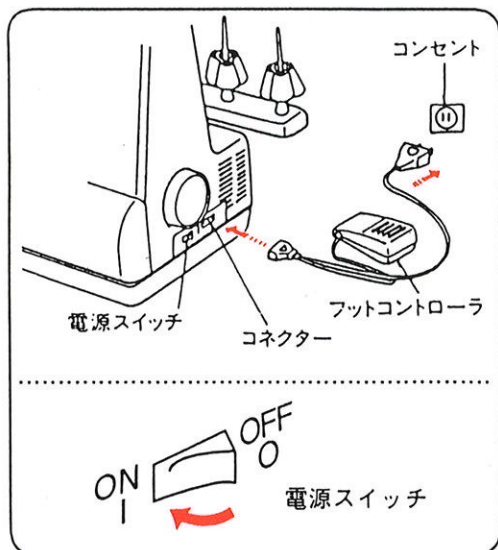
1. 飾り玉かアンテナの中央を持って、止るところまでまっすぐに伸ばします。
2. アンテナを左右に少し回してストッパーに合わせます。

## 駒糸押えとネットの取り付け方



1. 駒糸を使用するときは、糸立て棒から糸巻き受けを抜き取り、糸を糸立て棒に差しして駒糸押えを差し込みます。
2. たるみやすい糸には、糸置き台に糸がからんだりしないように、図のように付属のネットをかぶせます。

## 電源のつなぎ方



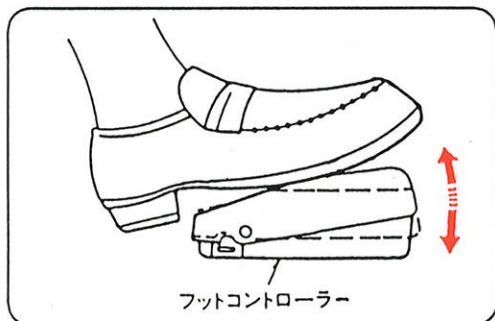
1. 電源スイッチをOFFします。
2. フットコントローラの差し込みプラグをミシン本体のコネクターに差し込み、電源プラグをコンセントへ接続します。
3. 電源スイッチをONにします。

▲ 注意：感電・火災・ケガの原因になります。

次の場合は電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントからはずしておいてください。

- ミシンを使用していないとき。
- 針・針板・押え金等可動部分のパーツ、アクセサリーの交換をしているとき。
- 糸を通したり、ミシンのお手入れをしているとき。

## スピードの調節

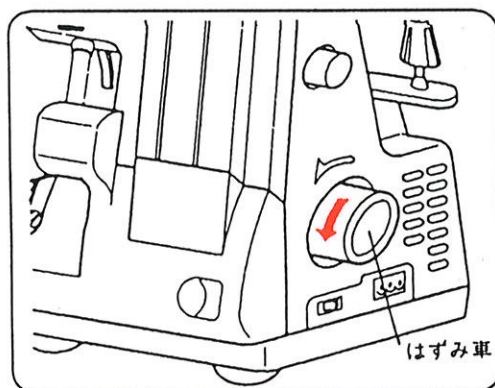


1. フットコントローラに足を軽く乗せます。
2. 軽く踏み込みます。
3. フットコントローラの踏み加減で、スピードを調節します。

▲ 注意：感電・火災・ケガの原因になります。

フットコントローラの上に物を乗せないでください。長時間放置しますと火事になる恐れもあります。

## はずみ車の回転方向



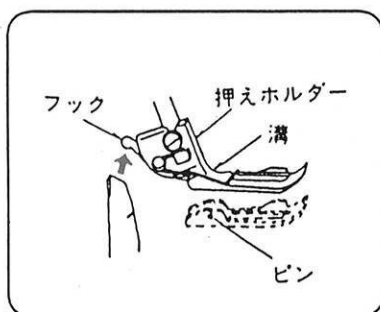
家庭用ミシンと同じように手前に回転します。

## 押え金の上げ下ろし



1. 図のように押え上げレバーを用いて、押え金の上げ下ろしをします。
2. 縫っている間、常に一定の押え圧が掛かるようになっています。
3. 押え上げレバーは2段になっています。上がった状態からさらにレバーを上げれば、押え金をさらにあげることができます。

## 押え金の交換

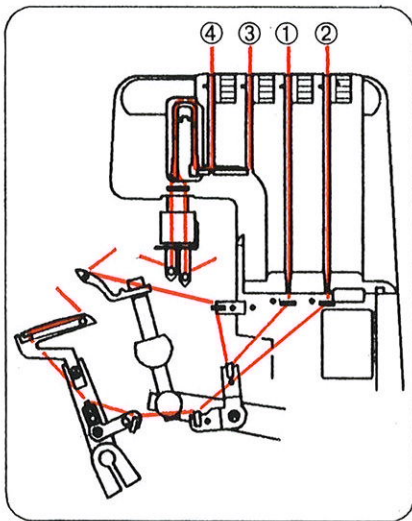


▲ 注意：ケガの恐れがあります。  
押え金の交換は電源を切ってから行ってください。

1. 押え上げレバーを上にあげます。
2. はずみ車を手前に回して針を上にあげます。
3. 押えホルダーの後方にあるフックを押して、押え金はずします。押え上げレバーをいっぱい上げて押え金を取り出します。
4. 押え金のピンが押えホルダーの溝に一致するように置きます。
5. 押え上げレバーを下げ、フックを押して押え金を押えホルダーにはめ込みます。
6. 押えレバーを上を再びあげて、押え金が確実に押えホルダーにはまり込んでいるかを確認します。



# 糸の通し方



糸は必ず下記の順番で通してください。

- ① 上ルーバー糸      糸の通し方を間違えますと目飛びや糸切れの原因となり、縫えません。縫う前に糸が正しく通っているか、必ず確認してください。
- ↓
- ② 下ルーバー糸
- ↓
- ③ 右針糸
- ↓
- ④ 左針糸

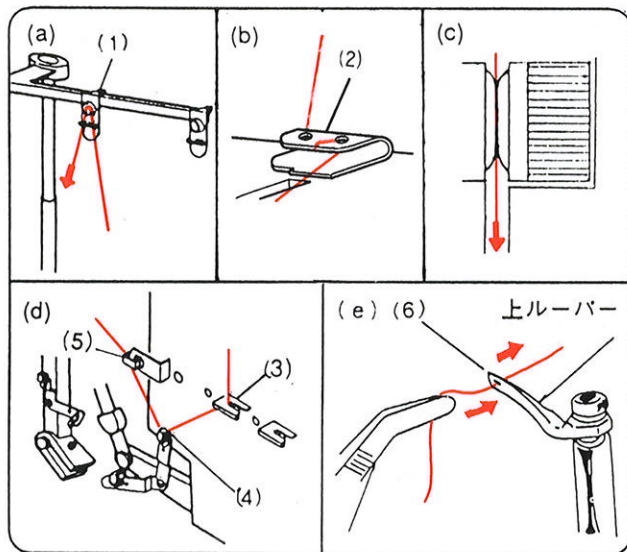
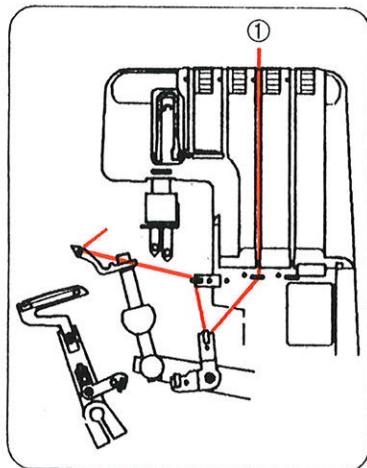
なお、糸の通し方の略図を、前カバーを開けたところに貼っていますので、糸通しをするときは、必ず見て間違いのないように行ってください。

▲ 注意：ケガの原因になります。

糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

糸の通し方

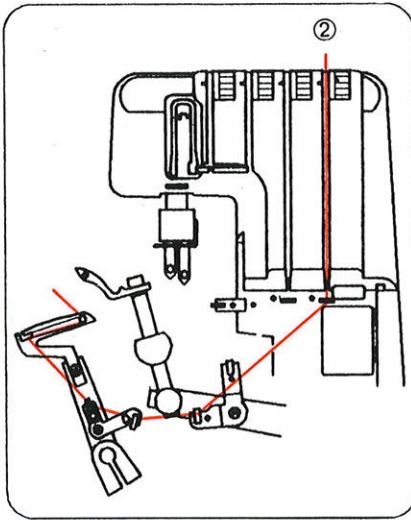
## ■上ルーバー糸（緑）の通し方



1. 前カバーを開けます。
2. 右から2番目の糸立て棒に糸をセットします。
3. (a)図のように、アンテナの右から2番目のアンテナガイド(1)に右から左に引っ掛けます。
4. (b)図のように、(2)の糸案内の左の穴に上から糸を通し、さらにもう一度同じように右の穴に通して前方へ出します。
5. (c)図のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
6. (d)図のように、3ヶ所の糸案内(3、4、5)にかけます。
7. はずみ車を回して、上ルーバーの先端を針板の右側の位置に (e)図のように、ピンセットを使って、ルーバー穴に糸を手前から後ろに向かって差し込みます。
8. 糸端を15cm程度引き出し、押え金の下に通して後ろに出しておきます。

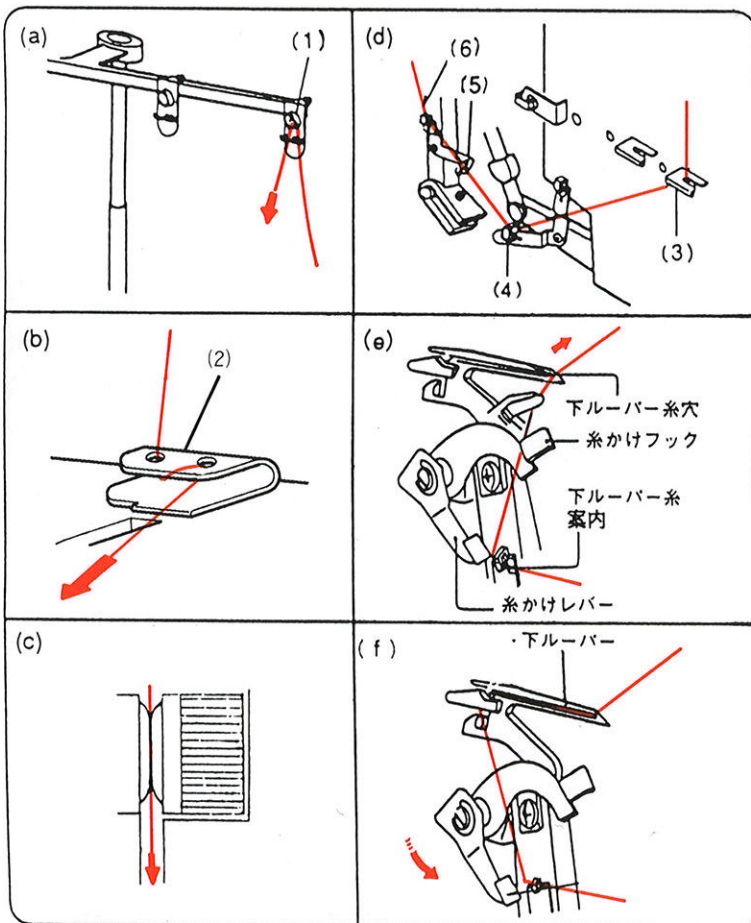
# ■下ルーパー糸（赤）の通し方

糸の通し方



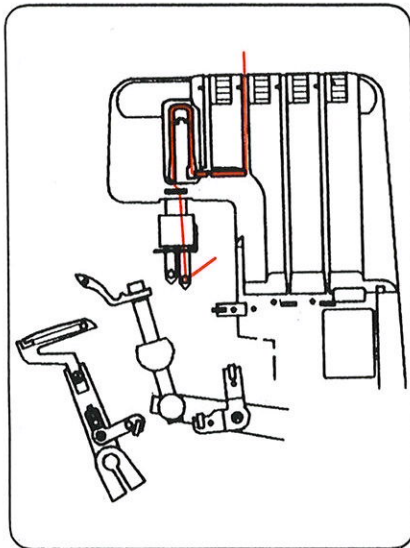
**▲ 注意：ケガの原因になります。**  
 糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。  
 何かのはずみでフットコントローラーが押され、  
 ミシンが始動すると危険です。

1. 前カバーと布台を開けます。
2. 右端の糸立て棒に糸をセットします。
3. (a)図のように、一番右のアンテナガイド(1)に右から左に引っ掛けます。
4. (b)図のように、左の穴に上から糸を通し、さらにもう一度同じように右の穴に通して前方へ出します。
5. (c)図のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
6. (d)図のように、4ヶ所の糸案内(3,4,5,6)にかけた後、はずみ車を回して、下ルーパーが針板の右側へ5~10mm



7. 出る位置にします。
7. ピンセットを使って下ルーパーの先に糸を通し、必ず上ルーパー糸の上へ引き出します。
8. 糸を押え金の下に通した後、15~20cm出して、左手で軽く引っ張っておきます。
9. 糸が(e)図のように、糸かけフックにかかるようにしておき、糸かけレバーをとまる所まで上げたら、レバーから指をはずします。
10. (f)図のように、下ルーパーの糸かけが完了します。

## ■右針糸（青）の通し方



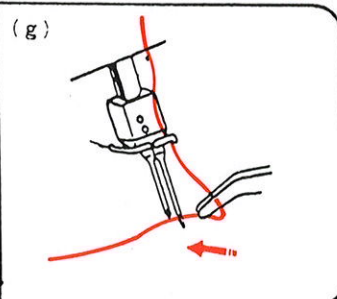
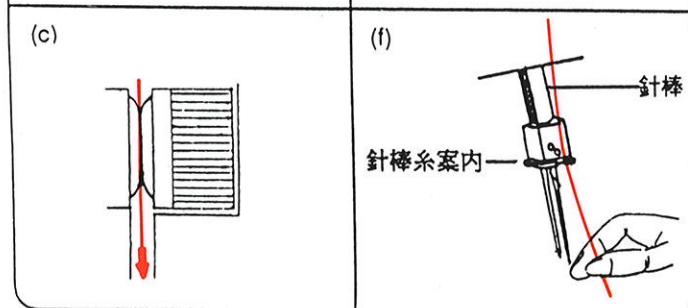
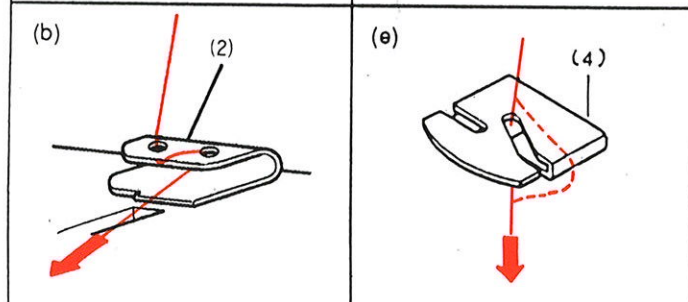
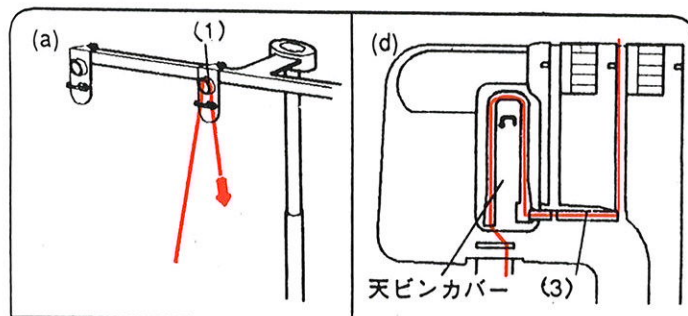
▲ 注意：ケガの原因になります。

糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。  
何かのはずみでフットコントローラーが押され、  
ミシンが始動すると危険です。

1. 左から2番目の糸立て棒に糸をセットします。
2. (a)図のように、左から2番目のアンテナガイド(1)に、左から右に引っ掛けます。
3. 左から2番目の糸案内(2)に、(b)図のように左の穴に上から糸を通し、さらにもう一度同じように右の穴に通して前方へ出します。
4. (c)図のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
5. (d)図のように、糸案内(3)にかけた後、天ピン

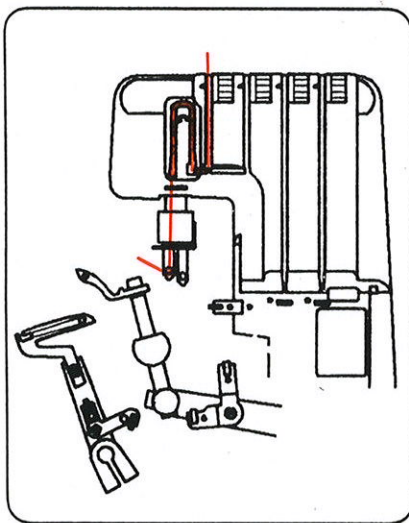
カバーの後ろに通します。

6. (e)図のように、糸案内(4)に糸をかけた後、はずみ車を回して、針を一番上にします。
7. (f)図のように、針棒糸案内に左側から差し込みます。もちろん上から下へ通しても結構です。
8. (g)図のように、ピンセットを使って、右の針穴に糸を通し、押え金の下を通して後ろへ10cmほど出しておきます。



糸の通し方

## ■左針系（オレンジ）の通し方

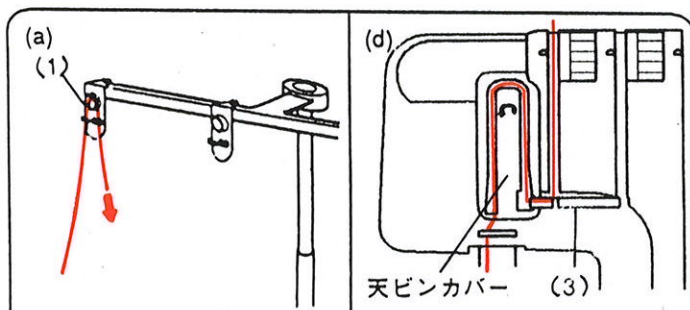


▲ 注意：ケガの原因になります。

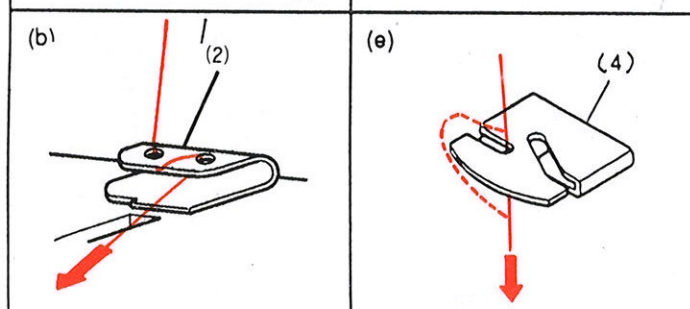
糸通しは必ず電源を切ってから行ってください。  
何かのはずみでフットコントローラーが押され、  
ミシンが始動すると危険です。

1. 左端の糸立て棒に糸をセットします。
2. (a)図のように、一番左のアンテナガイド(1)に左から右に引っ掛けます。
3. 左端の糸案内(2)に、(b)図のように、左の穴に上から糸を通し、さらにもう一度同じように右の穴に通して前方へ出します。
4. (c)図のように、糸調子皿の間を確実に通るように引き下ろします。
5. (d)図のように、糸案内(3)にかけた後、天ビン

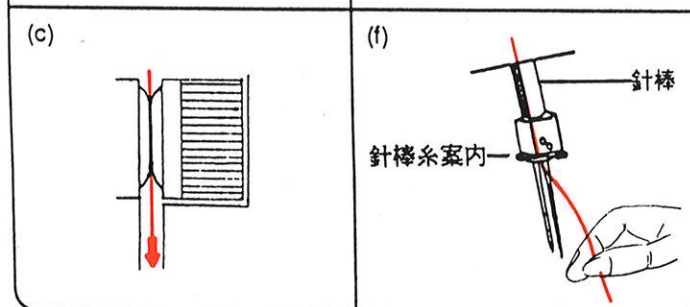
カバーの後ろに通します。



6. (e)図のように、糸案内(4)に糸をかけた後、はずみ車を回して、針を一番上にします。
7. (f)図のように、針棒糸案内に左側から差し込みます。もちろん上から下へ通しても結構です。



8. (g)図のように、ピンセットを使って、左の針穴に糸を通し、押え金の下を通して後ろへ10 cmほど出しておきます。



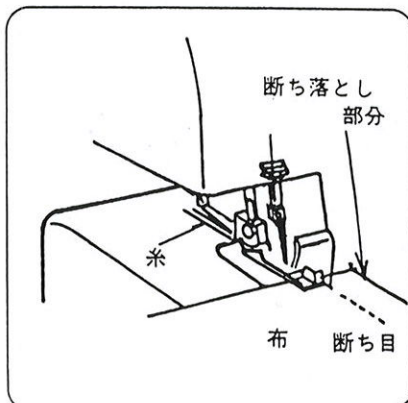
# 糸端の始末

縫い糸がほどけるのを防ぐため、縫い始めと縫い終わりに糸端を布地から2 3 ほど残すことが大切です。

▲ 注意：ケガの原因になります。  
針、ルーバー、メス、はずみ車等、可動部分に指や手、髪の毛を近づけないでください。また始動の際にはすべてのカバーを閉じてください。

## ◇ 縫いはじめ

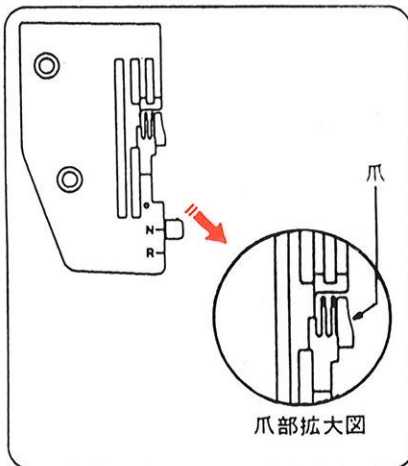
1. 縫い始める前に、すべての糸が正しく通されているかもう一度確認しておきます。
2. 上メスが解除になっていないか確認します。
3. はずみ車を2～3回手前に回し糸が針板の爪に正しくかかっているか確認します。
4. 空環が2～3cm出るよう空縫いします。
5. 押え金を上げ布の断ち目をメスの位置に合わせて布を置き、押え金をおろします。
6. フットコントローラを静かに踏んで縫い始めます。



布地はミシンによって自動的に送られます。無理に引っばったり押したりしないでください。

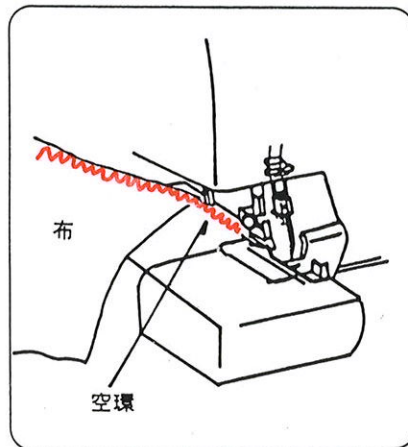
空縫い(からぬい)とは布地を縫わずにミシンを始動し、糸だけを送り出すことを言います。空環(からかん)とは空縫いによってできた糸の編み目形状を言います。

▲ 注意：ケガの原因になります。  
針、ルーバー、メス、はずみ車等、可動部分に指や手、髪の毛を近づけないでください。始動の際にはすべてのカバーをとじてください。

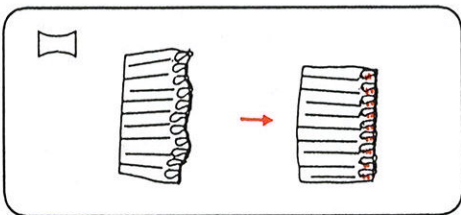
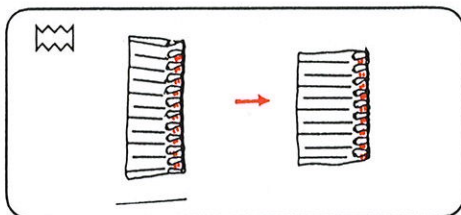
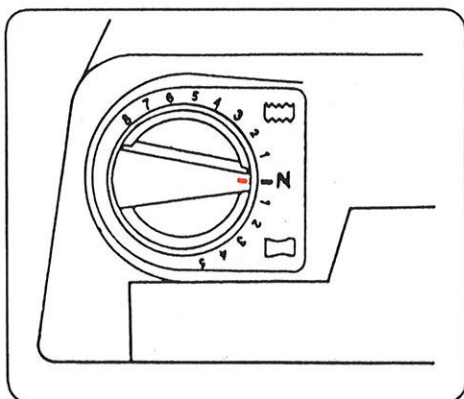


## ◇ 縫いおわり



1. 縫い終わったら、5～6cm空縫いをします。
2. 布地の端から3cmほどのところで、縫い糸を切ります。



## 差動送り量の調節

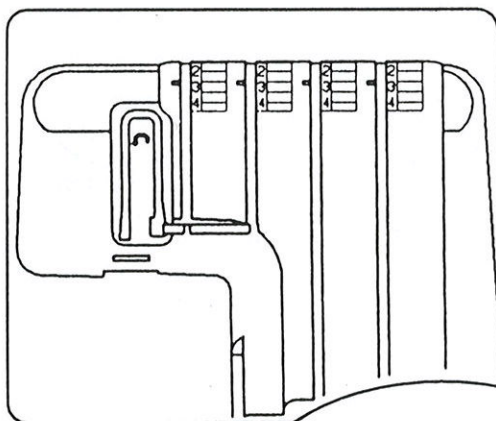


### 調節方法

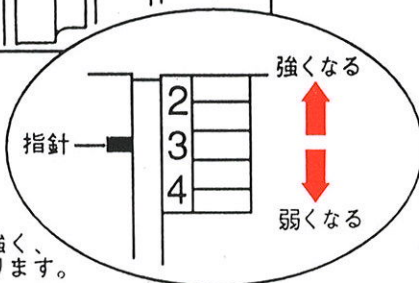
- **縮み縫い** 伸びやすい布地を縫う場合／バイヤス地を縫う場合／ギャザーを寄せたい場合など  
→ ダイヤルを“”側の1～8の数字にセットします。数字が大きくなるにしたがって縮み量は多くなります。
- **伸ばし縫い** 縮みやすい布地を縫う場合／伸ばしながら縫う場合など  
→ ダイヤルを“”側の1～5の数字にセットします。数字が大きくなるにしたがって伸び量は多くなります。

\* 差動送り無しで縫うときは、ダイヤルを“N”にセットしてください。

## 糸調子のとり方（2本針4本糸）



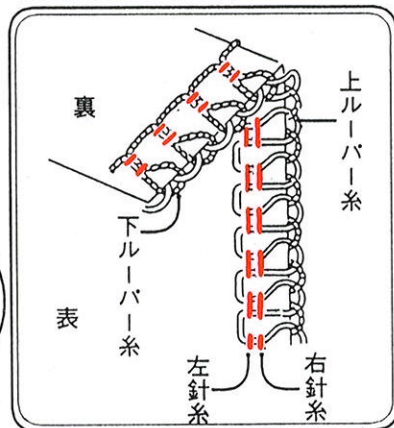
### 糸調子ダイヤル



数字が大きいほど強く、小さいほど弱くなります。

糸調子は布地・糸の種類、送り目の大きさによって変化しますので、そのつどきれいに縫えるよう調整してください。

### 正しい糸調子



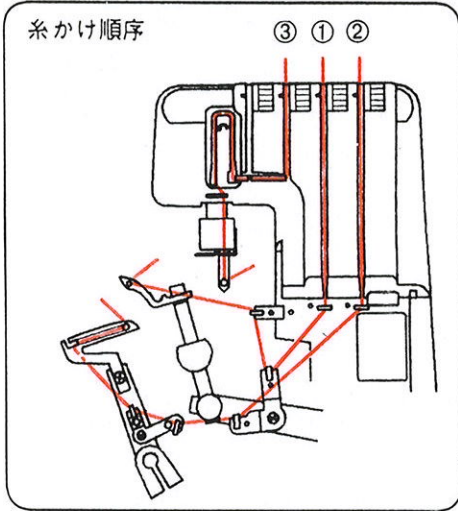
4つの糸調子ダイヤルをすべて4にセットし、事前に試し縫いをして、糸調子を確認してください。

<p>左針糸がゆるい</p>	<p>右針糸がゆるい</p>
<p>左針糸調子ダイヤルを強くしてください。</p>	<p>右針糸調子ダイヤルを強くしてください。</p>
<p>上ルーバー糸が布地の裏側に出る場合</p>	<p>下ルーバー糸が布地の表側に出る場合</p>
<p>下ルーバー糸調子ダイヤルを弱くするか、上ルーバー糸調子ダイヤルを強くしてください。</p>	<p>上ルーバー糸調子ダイヤルを弱くするか、下ルーバー糸調子ダイヤルを強くしてください。</p>

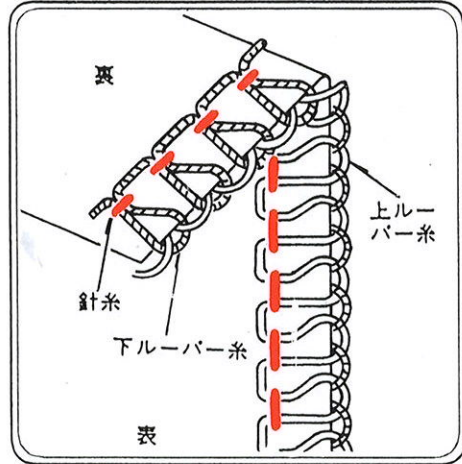
糸調子のとり方(2本針4本糸)

# 糸調子のとり方 (1本針3本糸)

このマシンは左針を使用しないことによって、1本針3本糸のかがり縫いをすることができます。



## 正しい糸調子



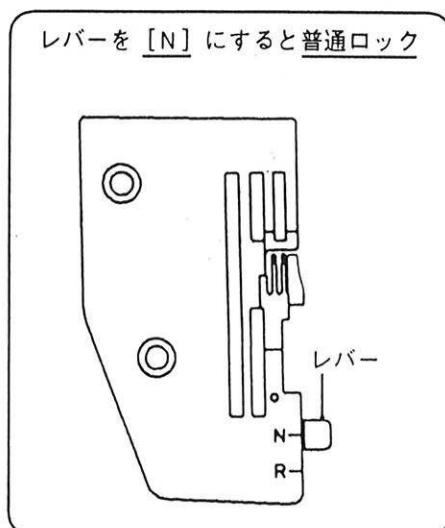
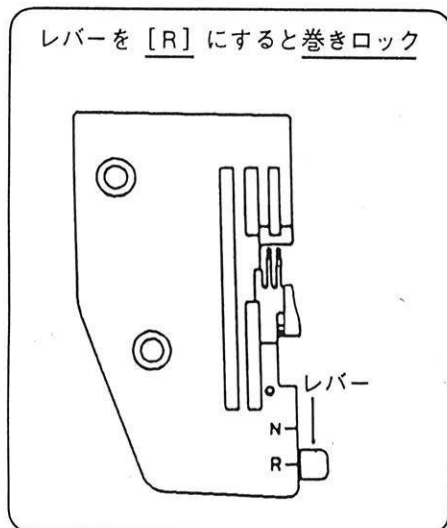
糸調子ダイヤルをすべて4にセットし、事前に試し縫いをして糸調子を確認してください。

針糸がゆるい	上ルーバー糸が布地の裏側に出る場合	下ルーバー糸が布地の表側に出る場合
<p>裏 針糸 上ルーバー糸 下ルーバー糸 表</p>	<p>裏 下ルーバー糸 上ルーバー糸 針糸 表</p>	<p>裏 上ルーバー糸 針糸 下ルーバー糸 表</p>
<p>針糸調子を強くします。</p>	<p>下ルーバー糸調子を弱くするか 上ルーバー糸調子を強くします。</p>	<p>上ルーバー糸調子を弱くするか 下ルーバー糸調子を強くします。</p>



## 巻きロックへの切り換え方

針板のレバーを [N] または [R] に移動することによって「普通ロック ↔ 巻きロック」の切り換えができます。



### 巻きロック・ピコ縫い・細幅ロックにおける 針と糸と布地の関係

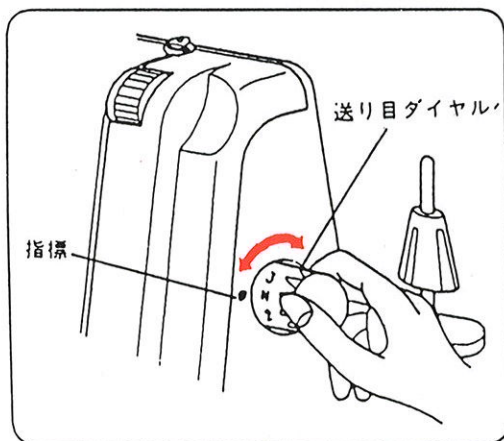
布地の種類	オーガンディ、クレープデシン、ローン、ジョーゼットなどのような薄い布地		
針	HAX1 #11		
針糸	ポリエステル糸 #80~100		
上・下ルーバー糸	巻きロック	ピコ縫い	細幅ロック
	ウーリーナイロン ポリエステル	テトロン 60~100 絹 50~100	ウーリーナイロン ポリエステル

# 巻きロック・ピコ縫い・細幅ロックの糸調子

布地の種類によって、糸調子が違いますので、下図の糸調子ダイヤルの数字を目安としてください。

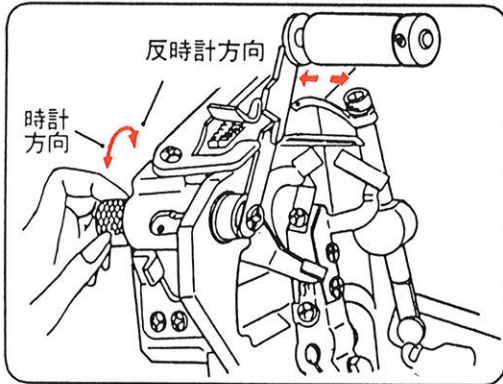
巻きロック	ピコ縫い	細幅ロック
<p>3 3 5</p> <p>5 5 7</p>	<p>2 2 3</p> <p>4 4 5</p>	<p>3 3 2</p> <p>5 5 4</p>

## 送り目の調節



1. 数字が大きくなるほど、送り目は長くなり、数字が小さくなるほど、送り目は短くなります。
2. 送り目の長さは1～4mmの範囲で調節できます。
3. Nは通常の送り目の目安です。

## 切り幅の調節

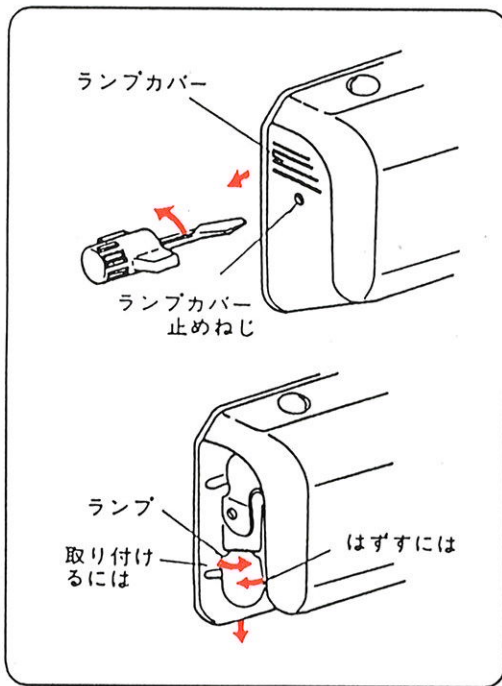


布地の厚さにあわせて切り幅を調節できます。

1. 布台を開けます。
2. 切り幅調節ダイヤルを回します。  
——反時計方向に回すと、切り幅を大きく  
できます。(薄い布地の場合)  
——時計方向に回すと、切り幅を小さく  
できます。(厚い布地の場合)

通常針板の右端から下メスが1mmほど左へ  
入った状態が良いでしょう。

## ランプの交換

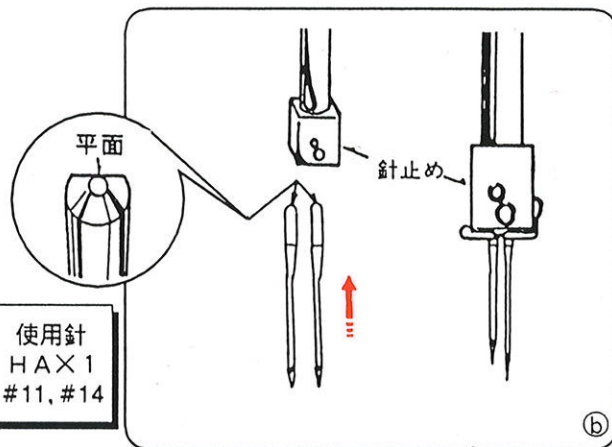
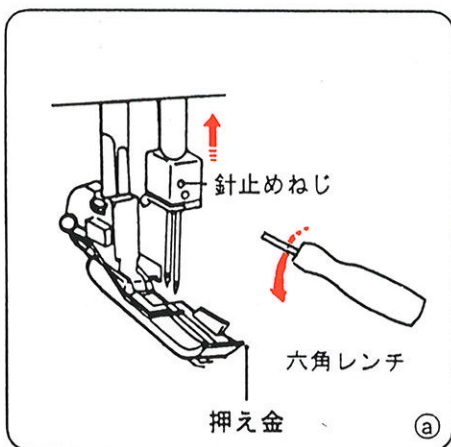


▲ 注意：ヤケドの恐れがあります。  
電源を切り、ランプが十分に冷めてから  
行ってください。

1. ランプカバー止めねじをゆるめ、ランプ  
カバーをはずします。
2. ランプをはずすには左側に回します。ラ  
ンプを取り付けるには右側に回します。
3. ランプカバーを取り付け、ランプカバー  
止めねじを締めつけます。

(注) ランプの消費電力は15Wです。  
ランプはお買い上げの販売店でお求めく  
ださい。

## 針の交換

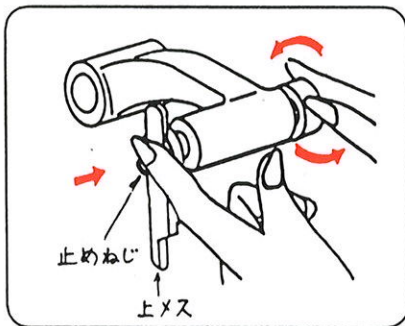
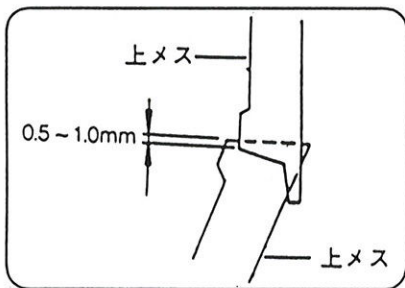


1. はずみ車を手前に回し、針を上げます。  
付属の六角レンチで針止めねじをゆるめ、針を抜いてください。(図①)
2. 新しい針の平らな部分を後方にして、針止めの一番奥に突き当たるまで差し込み、付属の六角レンチで針止めねじを固く締めつけます。(図②)

**▲ 注意：ケガの原因になります。**  
針の交換は必ず電源を切ってから行ってください。何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

(注) 指定以外の針や、折れたり曲がったり先のつぶれた針は使用しないでください。

## 上メスの交換 (メスの交換・調整はご購入店に依頼することをお勧めします。)



**▲ 注意：ケガの原因になります。**  
メスの交換は必ず電源を切ってから行ってください。何かのはずみでフットコントローラーが押され、ミシンが始動すると危険です。

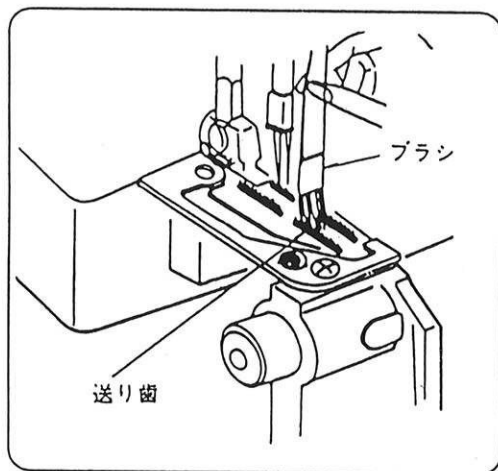
1. 前カバーを開けます。
2. はずみ車を手前に回して、上メスを最上点位置にします。
3. 上メス止めねじをゆるめ、上メスを取り外します。
4. 新しい上メスを取り付け、上メス止めねじを軽く締めます。
5. はずみ車を手前に回して、上メスと下メスの重なりが先端で0.5~1mmになるように上メスを位置決めし、上メス止めねじをしっかりと締め付けます。

### 上メスの解除

上メスを右にいっぱい押し込んだ状態でつまみを矢印方向に回すと約270度回転したところで固定されます。

\*下メスは特殊な固い材料で作られていますので、通常は交換の必要はありません。

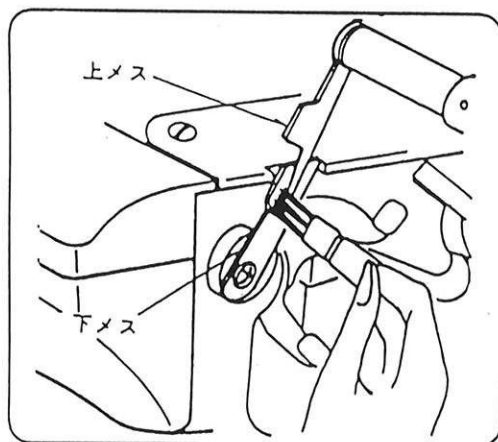
# 注油とお手入れ



▲ 注意：ケガの恐れがあります。  
電源を切ってから行ってください。

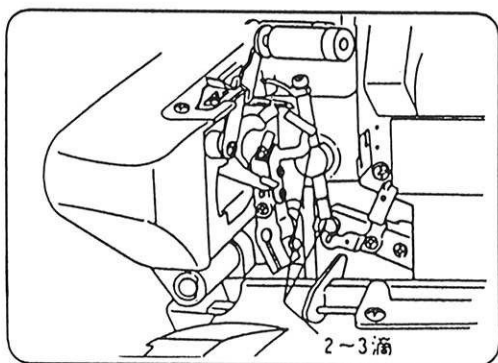
## ■送り歯の掃除

1. 布板と前カバーを開けます。
2. はずみ車を手前に回して、針を最上位置にします。
3. 針板と押え金をはずします。
4. 付属のブラシを使用して、送り歯のまわりのゴミをきれいに掃除します。
5. 針板と押え金を取り付けます。



## ■上メスまわりの掃除

1. 前カバーを開けます。
2. 付属のブラシを使用して、上メスと下メスマわりのゴミをきれいに掃除します。



## ■注油

1. 前カバーを開けます。
2. 図に示した部品各部にミシン油を2～3滴注油してください。
3. 頻繁にご使用になる場合は定期的に注油して下さい。

注油のめやす：1日8時間、連日使用 — 毎日使用前に注油

・1日2～3時間、週2～3回使用 — 週に1度注油

・1ヶ月に数回以下の使用 — 月1度～数カ月に1度注油

## 調子が悪いときは

ミシンの調子が悪いときは、まず以下の項目を確かめてください。

それでも直らない場合は、お買上げの販売店へご相談ください。

調子の悪い状態	原因	処置の仕方	参照ページ
糸が切れる	1. 針の取り付け方が悪い。	— 針を正しく取り付けます。	19
	2. 針が曲がっていたり、針先がつぶれている。	— 新しい針に取り換えます。	19
	3. 糸調子が強すぎる。	— 糸調子を調整します。	14
	4. 糸の通し方がまちがっている。	— 糸を正しく通します。	8~11
針が折れる	1. 布地を無理に引っ張っている。	— 布地を引っ張らないようにしてください。	—
	2. 正しい針を使用していない。	— 正しい針を使用してください。	19
	3. 針の取り付け方が悪い。	— 針を正しく取り付けてください。	19
目飛びする	1. 針の取り付け方が悪い。	— 針を正しく取り付けてください。	19
	2. 針が曲がっていたり針先がつぶれている。	— 新しい針に取り換えてください。	19
	3. 糸の通し方がまちがっている。	— 糸を正しく通し直してください。	8~11
布地にしわがよる	1. 送り目長さが布地に合っていない。	— 布地に合った送り目長さに調整します。	17
	2. 糸調子が強すぎる。	— 糸調子を調整します。	8~11
	3. かがり幅が布地に合っていない。	— 布地に合ったかがり幅を選びます。	18
ミシンの回転が重い	1. ミシン部分の一部に糸くずやゴミがついている。	— ミシンの手入れをします。	20
ミシンが動かない	1. 電源プラグがはずれている。	— 電源プラグを差し込みます。	6

# 仕 様

---

かがり幅	普通ロック	5~7mm
縫い目 (送り目)		1~4mm
差動比		0.8~2.0 (伸ばし・縮みの比率)
押え上がり量		6mm (Max)
送り歯高さ		0.7mm (標準)
使用針	HA×1	(#11、#14)
使用糸本数		3本・4本
照明ライト		100V 15W
ミシンの大きさ		292 (幅) × 295 (奥行) × 290 (高さ) mm
ミシンの重さ		7.5kg (モーター付完成品)

(仕様の一部を予告なく変更することがありますのでご了承ください。)



仕  
様

リトルロッキー

株式会社 **ジューキ**

〒102 東京都千代田区九段北 1-11-11

TEL 03(3265)2851 (代表)

お客様へ  
お買上げ日、販売店名を記入されておきますと、修理などのときに便利です。

お買上げ日	年 月 日
販売店名	
	TEL

¥300

BIP061000